(第三種郵便物認可 大正八年二月七日)

六夕日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四 編輯兼發行人 岡田弘成
福島縣石城郡平町紺屋町十四 印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

立候補しない人が見んな事言選

澤渡村の村議選擧

澤渡村の村會議員改選は五日午前六時から午後三時迄同村役場で執行されたが、有權者二百六十六名で候補者は正式に届出でたもの定員十二名に對し三名超過して十五名、投票の結果棄權十二名で午後三時から開票の結果三十分で開票を終えたが左の如く當選した。當選者の中鈴木貞江氏は立候補の届出でもせず運動もしなかつた人である。當選者左の如し。

▲二三齋藤壽▲二二阿部直衛▲二一野山藤吉▲二一草野逵▲一九鈴木貞江▲一九佐藤倉藏▲一八佐藤宣省▲一八草野惣吾▲一七佐藤清司▲一六加藤喜八▲一六岡村貫▲一五佐川寅治

▲落選 一三大竹末藏、九室原恕助、七三瓶角之助、五鈴木勝吉

町議選擧の異議申立

平町鈴木庫左右、金子政通の兩氏は五日平町役場に對し町會議員選擧異議の申立をなしたが、その理由とする處は平町柳町若松武一郎、掻揶小路吉田政吉、白銀町佐川友二郎の各氏は數ヶ月前から他町村に轉住したが投票を許可し一丁目鷹崎正見、諏訪喜一郎佐藤大次郎、鯨岡七郎、坂上仲衛、藤岡齊喜の各氏は二月から五月の間に他町村に轉住したゝめ投票を拒否されたといふにある。

暴風雨被害地免租申請

石城地方を襲つた過般の暴風雨のため石城山間方部並に濱地方の田畑は甚大な被害を蒙つたので各町村では免租についてそれぞれ協議中であつたがこの程左記町村より平稅務署に荒地免租の申請をして來た。

四倉、勿來、湯本各町、玉川平窪、好間、大野、內郷、上遠野、山田各村

石城の春繭六十八掛見當

石城郡內の春繭は四倉町方面を筆頭として十日前後から出廻るが相場は六十八掛見當であると察せられてゐる。

▲村長決定

玉川村長永井憶彌氏の後任は現助役駒木根忠三氏昇格して村長に就任、夏井村長は三日改選の結果阿部瀧藏氏當選就任した。

各學校を荒した靴泥棒捕はる

宮城縣名取郡荒濱村生れ當時住所不定無職武田清次郎(十八假名)は五月、六月の兩月に亘り平町平商業學校の下駄箱から靴五足、磐城中學校の下駄箱からも同樣靴數足を窃取、その他各學校を襲ふて靴專門の泥棒を働いてゐた事發覺し五日平署森刑事に捕はれた。

▲田租納入成績

平稅務署に於ける四年度四期の田租納入額は三萬二千九百七十五圓七十錢で決定額より二百四十圓の減を示してゐるが第三期に比較すると二分減の不成績であつた。

大謀網漁業認可方申請

石城郡植田町小濱漁業組合の出願の大謀網漁業はその後許可の小名濱、豊間兩漁業組合から反對陳情もあり縣としては慎重なる調査をなし未だ許可の運びに至らないので地元縣會議員古川傳一氏は五日出縣して酒井商工水産課長に會見許可方を陳情した

▲平窪村議候補者

平窪村會議員の選擧は十一日行はれるが候補者左の如し。

吉田丈助、矢吹初彌、小野清太郎、木田源三郎、鈴木勇、高田彌勇、坂本幸四郎、小野久四郎、福田周吉、高萩森之助、松本德一、上妻万次郎、鈴木重次郎、金成德治、國府田欽一郎

▲平青年幹部會

平町青年團幹部會は五日午後七時から同町藤田女學校に開き左の諸件を協議した。

一、基本金造成の件
一、團報發行の件
一、事業計劃の件
一、前團長に紀念品贈呈の件
▲諮問事項

新川の水害工事

平町、飯野、內郷三ヶ町村聯合水害豫防組合會臨時總會は六日午前九時から平町役場に開き過般の水害復舊工事に關し追加豫算一萬二千二百六十八圓を協議したがこの中八千五百八十七圓は縣補助を仰ぐ豫定である。

罹災者有志消防組に寄附

過般大災に遭つた掻揶小路有志は左の如く平消防組に寄附した

▲清酒二斗色川勝三郎、一斗長谷川浩太郎、二斗吉田五平、一斗山野邊義政、五升志賀子之松五升馬目玉彌、二十圓門傳清吾、十圓掻揶小路一同、二斗江口忠一、二斗馬目酒店

原町通信

金房村の選擧違犯 芋蔓的に事件擴大

去る一日村會議員の改選を行ひたる相馬郡金房村にては當選者十五名の立候補あり殊に同村は政民伯仲の所とて目下中々激戰である。

▲相馬郡各町村小學校にては例年農繁期には二週間の休校を行ふ事となつて居るが原町及中村町第一第二の三校丈は休校せず授業を續行する由。

▲芝池技師の視察 農林省の芝池技師は本縣遠藤耕地課長の案内にて去る三日より相馬郡新沼八澤、井田川の干拓地水害視察の爲め出張し約一週間滯在の見込であると。

▲相馬高女の修學旅行 相馬高等女學校三年級以下三百五十名は五日松島に修學旅行に出張。

四倉初町會

八日開會

四倉町の初町會は八日午前九時召集、左の諸件を附議する。

一、四倉町會議規則改正の件
一、四倉町會傍聽人取締規則設定の件
一、四年度縣稅家屋稅賦課方法決定の件
一、前町長退職慰勞金贈呈の件
一、山野委員選任の件
一、臨時出納檢査立會人選任の件
一、漁港修築實行委員選任の件
一、公用地調査委員選任の件

透腹の感想

武藤生

この感想は、資本主義の社會でパンにはぐれた空腹な人間が、悲しげに揚げる氣焰であると思ひ給へ。

これまで私は和歌蘭と云ふペンネームで本紙に稿を寄せてゐたが、たま〳〵四倉町長問題の論議さるゝに際し或る人達と本紙上に於て論爭を交へた。もとより私には爭ふ意志があつた譯ではないが、私のペン先が當時の町會議員に對して若干皮肉に過ぎたゝめか、端なくも反駁が提出されたのであらうが、性來喧嘩すきである私は面白半分この相手になつたのだから杉原氏からみたらとんだ迷惑であつたとも言はれないこともないのである。

私が若年の身で四倉町議改選に出馬したら、或る人は私に向つて次のやうなことを言ふた「君は幸運兒だ、この選擧が若し無競爭でなかつたら君は落選を背込むだらう」と、だが然し三十日の開票の結果殘念ながら私はこの有難い、「幸運兒」を他の人に奪はれてしまつたのだ、それにしても拾年一日の如く變らざる偶像崇拜者はあはれなものだと悲しまずには居られない。

聲の大きいのが眞理であるとは人間社會の論議に於ては決定されない、眞理はそれが小さい聲で言はれても眞理そのものには何等變りはない筈である。然るに我四倉ではどうであらう、度々あることではあるが聲の大きい奴が眞理の主張者らしく誤認されてはゐないか、特に町會ではそれが通例とされては居ないだらうか、若し過去に於てそうであつたとしたら我々はそれから目覺めなければならない。

禁獵區設定請願

赤井嶽藥師堂

石城郡赤井村赤井嶽藥師堂は風光明媚の地として風致保存上禁獵區に設定されたいとかねて請願中であつたが今回金華山から鹿四頭をゆづり受け保護繁殖の目的から是非前記の設定をされたいと同郡選出縣議若松美三氏が三日縣保安課に陳情した。

▲國府田氏祝賀會

平町鍛冶町國府田直良氏の當選祝賀會は六日午後二時から同町草野氏宅で開いたが盛會であつた

鼻の藥「チタノール」
平五 山野邊藥局

小名濱に公設質屋

中産階級以下細民救濟のために石城郡小名濱町では二萬二千圓の低利資金を借受け同町中島公有地に町の公設質屋を設置することに今回町會において決議した、開業の曉は庶民金庫とも目されてゐる今日一般から非常な期待を受けてゐる。

また化石發見

鬼越山から

過般石城郡大野村鬼越山の磐城セメント原料採掘場から十二萬年前に生棲してゐたといふ鮫の一種の牙を發見したこと既報したが去る三日同じ場所から長さ一尺五寸徑五寸余の骨の化石を角田事務員が發見したので同事務所では直ちに東京帝國大學に送つた、なほ過般發見した牙は帝大でも鑑定がつかぬので汎太平洋學術會に送ることとなつた

同業消息

▲いはらき新聞支局大竹庫氏は勤務演習の召集をうけ來る六月二十四日近衛歩兵第一聯隊に入隊三週間で歸平する。

▲過般火災に遭つた福島新聞平支局森田忠政氏は一兩日中平町堂の前に移轉する。

▲福島氏友新聞平支局佐藤稔氏は六日午前十一時列車で福島に出張十日頃歸平する。

飲食店から時計を盗む

寶輪村大字高野字石畑居住無職高萩喜久雄（十九）は性來窃盗癖を有し數回起訴猶豫の處分をうけた者であるが、去月三十日午後十二時近い頃内郷村大字宮料理店石川京方の座敷内に忍び入り鏡臺の抽斗から銀側懐中時計價格五圓を窃取したので平署に捕はれ取調べた結果十數件の余罪を自白した。

川柳に現はれたる兒童愛について

（中）　高濱　勿來

四、言ひたさをあとへ廻して子を寢かせ

御亭主が宴會から歸つて來てお歸りなさいと云ふて出たが色々文句がある、言ひたいけれどもまづ子供を寢かしてからそろ〳〵燒き上げやうと思つたのです、其中に亭主も寢る、言はふとした事も其儘にすむことがある、之も子供が大切だと云ふことから出た句でありませう。

五、圓くても月は日に似ず後の母

氣にくはぬ妻だと思つても子供の行末を考へて後の母の手にかけるのは可愛想だから大概の事は堪忍することになる圓いのは月も日も同じであるけれども月は日に似ない通り後妻は前のお母さんのやうでないと云つたのでせう。

六、今すてた子を稻妻に抱いてにげ

之れは棄兒の詩杯と同じことで、棄てゝ立去らうとすればぴかッと稻妻が光つたから抱き上げて逃げたと云ふ親子の情が其所に見える。

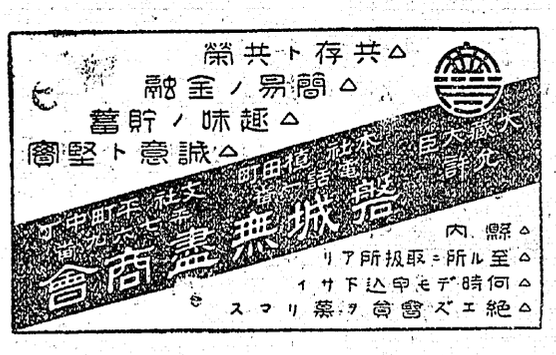
七、負ふた子の覺えがよくて憎がられ

これは可愛がつたのでなく憎がつたやうなだが中々意味深長で面白いと思ひます、子供は記憶のよいものでありますから之れを負ふものはよく注意せぬと危險だ隱し事等は言ふのでないと言ひ聞かせても皮肉を云ふものです、或る妻君が料理屋へよつて御馳走を食べ遲くなつたので人力車に乘り途中でおりて歸る時、御馳走を食べたことや人力に乘つた事はだまつておいでとくりかへし云ひ聞かせてこれで心配ないと思つて家へかへると否や其子は御婆さん今日はね私は御馳走も食べないし人力車にも乘らないよと云つたさうです、そして隱しごとが現はれたさうです。

貸家案内

白銀町　商店向　二十圓
同　勤人向　七圓五十錢
仲間町　商店向　十圓
同　勤人向　四圓五十錢
同　商店向　八圓
同　勤人向　五圓五十錢
同　同　五圓五十錢
鷹匠町　同　十二圓
同　同　十二圓
柳町　勤人向　七圓五十錢
内郷村小島　同　十圓
風呂場附　勤人紳士向　八圓

白銀町　加藤營業所



平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

開業廣告

今回隣家より失火の際は御蔭を以て店舗及倉庫を全燒せしのみにて幸ひ工場及事務所の類燒を免れましたことは皆樣の御助力の賜と深く御禮申上げます
猶營業所は店舗新築落成まで約一ケ月間製材工場事務所にて七日より開店致しますから從來通り御引立御用命の程御願申ます

色川材木店
電話三四一番

内臓外科
骨關節外科　專門
整形外科
藤本順

産婦人科
外科
産婦人科
木村寅次郎

木村病院
平町新川町（電話一六四）

滋養、强壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「粟守酒」
朝の一盃は精力の根源、晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店　大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢　平町一丁目（電話六四二）

ユラノスケ粕取燒酎發賣
二合白瓶二十五錢（空瓶交換仕候）
平町四丁目平驛通り
永山酒造店總發賣元
電話二〇七番

外科　專門
平町南町
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番

新人の意氣天を衝き全篇に溢る熱と力の名作
▼七日より上映プログラム▲
松竹提供・市川右太衛門主演　原作鈴木史郎　監督長尾史錄
宿命史　三下野郎　全
盃を受けた親分の爲に善も惡もなく死命を賭して盡してゆく血涙に彩られた悲壯なる三下奴の物語りではある。
都新聞連載　松竹蒲田大作　原作畑耕一　監督野村芳亭
名作　棘の樂園　全
岩田祐吉、栗島すみ子、川田芳子、奈良眞養、八雲惠美子、藤野秀夫　共演
嘗て雜誌キングに連載さるゝや果然人氣の中心となつて帝都の紙價を高からしめたる此名作適材適所を得て遂に映畫化さる　◆澤田清、市川小文治　共演
劍聖　塚原小太郎　前篇九卷
連續全十八卷　來週後篇上映　原作脚色監督佛生寺彌作
川上彌生、久米讓、瀧澤靜子、瀨川銀潮　助演
土日曜學生デー　日活
料金普通　松竹　平館　電466

二▽印刷所
平町字仲町
電話七四三番

耳鼻咽喉科專門
平町仲田町七一
新築移轉場所
合津醫院
電話五九五番